

BLUETREK G2 操作説明

本書では、au A5504T とのご利用を前提に、操作方法を説明いたします。

●BLUETREK G2 の各部位の説明



- ・**状態表示ランプ**：状態表示用ランプです
- ・**操作ボタン**：G2 の電源の ON/OFF、ペアリングモード、着信応答、リダイヤル発呼などの操作を行います
- ・**ボリュームアップボタン**：音量を上げます
- ・**ボリュームダウンボタン**：音量を下げます
- ・**充電ソケット**：充電時に使用するソケット部です
- ・**マイク部**：音声入力部です
- ・**スピーカ部**：音声出力部です。フレキシブル性を持たせてフィット感重視したイヤホンタイプの音声出力部です
- ・**イヤハンガー**：装着感を安定させるための耳掛け部です。180 度回転させることにより、左右どちらの耳でもご利用いただけます

●G2 は、Bluetooth ヘッドセットプロファイルとハンズフリープロファイルの両方をサポートしており、接続機器に応じて自動選択されます。(A5504T は、ハンズフリープロファイルをサポート)

●まず、ご利用開始前に、G2 をフル充電してください。充電が完了すると、ランプが青に変わります(充電中は、紫)。

注)最初の充電時:約 8 時間、以降の充電時間:約 2 時間

注)電池寿命を長く保つために、ランプが赤く点滅し始めてから(電池残量が少ないことを示します)充電して下さい。電池寿命は、充電回数にも左右されるためです。なお、約 500 回までの充電回数寿命となっています。

注)長時間未使用状態が続くなどして、電池が完全に放電したような場合、電池を回復するために最低 10 時間以上充電してください。

この場合、ランプは、赤→紫→青と変化します。青表示になったら、充電完了です。

注)24 時間以上、充電を続けしないで下さい。

1. 電源の ON/OFF

・G2 の操作ボタンを長押し(約 2 秒)すると、ランプが素早く連続的に点滅し、ON になったことを知らせます。その際、スピーカ部からは、上昇トーンの音が聞こえます(高音めのピロロ)。

・ON の状態で、マルチボタンを長押し(約 5 秒)すると、ランプが素早く連続的に点滅し、OFF(青点滅→赤)になります。その際、スピーカ部からは、下降トーンで音が聞こえます(低音めのピロロ)。

注)ペアリングが終わった後、電源を OFF にし、再び ON にすると、スピーカ部からは、電源 ON トーンの後、連続的に、「プププッ…」と音が聞こえますが、これは、電源 OFF 時のペアリング相手を探している状況を示します。故障ではありませんのでご安心下さい。

2. A5504T との機器登録(ペアリング)及びリンクアップ

A5504T では、以下の操作を行うことで、ペアリングとリンクアップを一連の操作でスムーズに行うことができます。なお、ペアリング操作は、初回のみで、通常は、再設定する必要はありません。

- ① G2 の電源が OFF であることを確認します
- ② G2 をペアリングモードに切り替えます。OFF の状態から、操作ボタンを長押し(7 秒程度)すると、ランプが青⇄赤点滅します。
- ③ ②の状態、A5504T から探索を行います
 - A5504T の Bluetooth ボタン を短く押します
 - Bluetooth メニュー画面で、「1.ハンズフリー通話」選択
 - 「初期登録」選択→「はい」選択→探索開始
- ④ 機器選択画面から「BlueTrek G2」を選択(「接続」選択)
- ⑤ バスキー「0000」入力→認証処理中→初期画面に戻ります(認証処理中→登録完了、G2 からメロディ鳴動)
- ⑥ A5504T 画面上部に、Bluetooth マーク (青)が表示されますこの状態で G2 と A5504T がペアリング及びリンクアップ完了となります

3. 着信受付(受話)

- A5504T に着信があると、まず A5504T が着信の鳴動をします

- 続いて、G2 から着信音が聞こえます
- G2 の操作ボタンを押すと通話できます

4. 電話をかける(発信)

- A5504T で電話をかけます
- ダイヤル中、あるいは、通話中に G2 の操作ボタンを押すと携帯電話から G2 に通話が転送されます
- あるいは、A5504T のソフトボタン(カメラボタン)を押すことで携帯電話⇄G2 間の通話を切り替えることができます

5. 通話終了(終話)

- 通話中に G2 の操作ボタンを押すと終話できます

6. リダイヤル

- 待受中に G2 の操作ボタンを約 2 秒押し、押した瞬間(ピッ)と約 2 秒後に「ブルッ」と音がします。2 回目の「ブルッ」という音が聞こえたら、直ちに操作ボタンから指を離してください。
- A5504T から最終発信者へリダイヤルされます

注)「ブルッ」と音がしたあとボタンを押し続けると電源 OFF になりますのでご注意ください

7. ミュート

通話中に、ボリュームアップまたは、ボリュームダウンボタンのいずれかを約 2 秒長押しすると、ミュート機能になります。その場合、スピーカから音声は聞こえますが、通話相手にこちらの音声は聞こえなくなります。その間、スピーカから、約 3 秒おきにピープ音が聞こえます。再度、ボタンを約 2 秒長押しするとミュート機能が解除されます

8. 携帯電話と G2 間の通話切り替え

- A5504T のソフトボタン(カメラボタン)を押すことで携帯電話⇄G2 間の通話を切り替えることができます
- G2 の操作ボタンを約 2 秒押しすと G2→A5504T に、通話が切り替わります。G2 の操作ボタンを短く押しすと A5504T→G2 に、通話が切り替わります

注)G2 で音声会話中に、操作ボタンを短く押しすと、通話終了(終話)となりますのでご注意ください

9. 音量調整(11 段階)

- 受話音量にあわせてボリュームアップボタン、ボリュームダウンボタンを押すことで調整が可能です。押すごとに、音量を知らせます

10. リンクダウン時の再リンクアップ

以下の場合、リンクダウン状態となり A5504T 画面上部の、Bluetooth マークが (青)から (白)表示になります。この状態では、G2 を使っての受話や終話などができないため、リンクアップ状態に戻す必要があります。

- ・A5504T と G2 が約 1 分以上、接続距離範囲を超えた場合
- ・BREW アプリが起動した場合(EZナビウォークなど)
- ・A5504T の電源を OFF にし、再度、ON にした場合 など
- G2 の操作ボタンを短く 1 回押しして下さい。通常、約 3 秒程度で A5504T 画面上に、「BlueTrek G2 接続完了」画面が表示され、初期画面に戻ります。A5504T 画面上部の Bluetooth マークが (青)に戻り、リンクアップ状態に戻ったことを示します。

11. ランプ表示状態の説明

青色ランプの表示状態	ランプ状態	点滅間隔
アクティブモード(通話中) ・接続中(最大 9 時間の通話可能)	点滅	毎秒の点滅
スタンバイモード(待受け中) ・着信待ち(最大 400 時間の待機時間)	点滅	約 7 秒毎に点滅
電池不足	点滅	赤点滅(一定間隔ピープ音)
機器登録(ペアリングモード)	点滅	青⇄赤交互に点滅

12. 問題発生時の対処方法

下記サポートデスクまで、メールにてご連絡ください。

support1@bluenext.jp

電話：03-3496-3022(年末年始除く年中無休10時～18時)

ワイヤレスソリューションカンパニー
株式会社ブルーネクストジャパン Wireless Solution Company
 所在地：東京都港区六本木7-13-1 立原ビル5F
 ホームページ：<http://www.bluenext.jp>

安全上のご注意

ご使用前に、必ず下記の項目をお読みになり正しくお使い下さい。

➤ 記号の説明

警告

この表記を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電などにより死亡や大けがなど人体への重大な障害をもたらす恐れがあります。

注意

この表記を無視して誤った使い方をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、物的損害の発生する可能性があります。

➤ 免責事項について

- ・地震、雷、風水害などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意、または過失、誤用、その他異常な条件下でのご使用により起因した損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・本製品の使用、または使用不能から発生する付随的な損害(事業利益損失含む)に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・当社が関与しない接続機器との組合せによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

警告 高温、低温、温度変化の大きいところでの充電、使用、放置はしないで下さい。発熱、発火、変形、故障の原因になります。

警告 付属の専用周辺機器をご使用下さい。発熱、発火、故障の原因となります。

警告 自動車など乗り物の走行運転中に本製品の操作を行う場合、事故に繋がる危険がありますので、自己責任で安全運転を心掛けてください。また、安全な場所に停車してから、通話して下さい。

警告 自動車運転中における携帯電話とヘッドセットの使用に関しては、事前に使用地域の法律・条例等をよくご確認ください。

警告 分解、改造、修理を行わないで下さい。発熱、発火、感電、故障の原因となります。

警告 水などが直接かかる場所や湿度の高い場所で本製品を使用したり、濡れた手で触らないで下さい。感電、発火、故障の原因となります。水ぬれや湿気による故障は、保証の対象外となります。

警告 落下や投げるなどの強い衝撃を与えないで下さい。故障の原因となります。

警告 梱包に使用しているビニール袋は、お子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。窒息等事故の原因となります。

警告 万一、異常な熱さ、煙、異常音、異臭、破損などの異常が発生した場合は、ただちに本製品の電源を切り、ご使用を中止し、お買い求めの販売店等に修理をご依頼ください。異常のまま使用すると発熱、発火、感電、故障の原因となります。

警告 雷鳴時には、ACアダプタの抜き差しを絶対に行わないでください。感電する恐れがあります。

注意 本製品の音量は適度な音量に調整してご利用ください。音量が大きすぎると難聴になる恐れがあります。

注意 携帯電話の利用を禁止された場所では、本製品の電源をお切り下さい。

注意 乳幼児の手の届く場所には置かないで下さい。誤飲やけがなどの原因となります。

注意 お手入れの際には、アルコールなど揮発性のものは、使わないで下さい。変色、変形、変質や故障等の原因となります。

➤ 電波に関する注意事項

本製品の使用周波数帯(2.4GHz 帯)では、電子レンジ等の産業、科学、医療機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)、及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

本製品を使用する前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことをご確認ください。万一、本製品からこれらの無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかにご利用を停止し電波干渉を避けてください。また、何かお困りのことが起きたときには、当社へご相談下さい。

本製品は、2.4GHz 帯高度化省電力データ通信システムが内蔵されている無線設備です。変調方式には、FH-SS 方式を使用しています。

➤ その他

- ・このマニュアルに掲載している会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。
- ・掲載されている仕様、デザインは、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・Bluetooth は、Bluetooth SIG, Inc., U.S.A.の登録商標であり、(株)ブルーネクストジャパンはライセンスに基づき使用しています。

保証規定

[BNJ2005K-01]

1. 取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書に基づく、お客様の正常な利用状態で保証期間内に万一故障した場合には、無料で故障箇所を当社の方法にて修理させていただきます。なお、本製品のハードウェア部分の修理に限定させていただきます。修理を行うために交換された旧部品、または、機器の一部は、基本的には、お返しいたしません。なお、故障の内容によって修理にかえて同等品と交換させていただく場合がございます。
2. 下記の事項については、保証の対象にはなりませんのでご注意ください。
 - (1)保証書あるいは、ご購入時の領収書ご購入を証するものがない場合
 - (2)保証書にお買い上げ年月日、お客様のお名前、販売店名、販売店の確認印の記入あるいは押印がない場合
 - (3)不注意な取扱いや使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷の場合
 - (4)お買い上げ後の落下、衝撃などお客様の取扱いが適正でないために生じた故障及び損傷の場合
 - (5)火災、塩害、ガス害、地震、落雷及び風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障及び損傷の場合
 - (6)取扱説明書に記載のない使用方法をされた場合
 - (7)取り付け部品、外装裝飾仕上げ、電池、及びその他付属品などの消耗部品
3. 保証期間は、お客様の本製品ご購入日から1年間とし、保証対象者は、最初のご購入者に限定されます。保証書等、ご購入日を証するものがない場合、保証期間は、保証書記載の国内出荷日から起算するものとします。
4. 修理、交換等の場合、当社への返送費用は、お客様のご負担とし、お客様へのお届けは、当社または販売店の負担とします。
5. 当社及びその代理店、あるいは販売業者は、本製品のもたらす結果に関して、いかなる場合(利益の損失、時間の損失、不便の発生など)にも法的な責任を負いません。当社が損害賠償責任を負う場合は、お客様がお支払いになった本製品代金相当額をもって上限とさせていただきます。
6. 本規定は、日本国内においてのみ有効です。
THIS WARRANTY IS ONLY VALID IN JAPAN.